

地方航空路線活性化プログラムの評価結果について

路線名	提案者 (共同提案者)	提案の概要	委員の評価結果						委員の主なコメント
			委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員⑥	
釧路＝丘珠	釧路空港利用整備促進期成会 (HAC)	<p>①利便性向上のための運行情報提供事業 発着情報をリアルタイムで提供するモニター設置(欠航率の高さが課題)。</p> <p>②空港アクセス利便向上事業 釧路丘珠路線利用者は空港連絡バス等を割引。</p> <p>③路線認知度向上のためのPR事業 空港連絡バスへのラッピング広報により認知度向上等</p> <p>④魅力ある旅行商品造成事業 ・若年層からツアー商品のアイデア募集。 ・北海道新幹線開業を控えた函館から丘珠～釧路を乗り継ぐツアー商品の造成。</p> <p>⑤航空搭乗券の地域クーポン活用実証実験 搭乗半券を飲食店等のクーポンとして活用。</p>	A	A	S	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクトを実施するにあたり、釧路、丘珠間の連携体制がとれている。 ・工程表が詳細であり、個々の主体の役割分担が詳細に詰められている。 ・新幹線との共生を打ち出したところに興味をもった(モデル性、周遊観光の選択肢の増加)。 ・道内航空ネットワークのモデル的な事業となる可能性がある。
羽田＝紋別	オホーツク紋別空港利用・整備促進期成会 オホーツク紋別空港利用促進協議会 (ANA)	<p>①「流水」や「花」を活かした旅行商品開発など 流水や原生花園などを中心に、食や交通手段にも配慮した旅行商品開発。首都圏JRの中吊りでPR。紋別～稚内の空港間バスや花の名勝周遊バスの運行。</p> <p>②タイからの観光客誘致事業 タイのマスコミを招聘しPR。またバンコク市に訪問団を派遣し旅行商品企画を依頼(流水時期等)。</p> <p>③首都圏等全国向けのPR事業 ANA機内誌特集記事、PR広告。空弁の開発。テレビ番組放映。都内で物産展を開催。</p> <p>④空港ビル機能向上、情報発信機能の強化 空港ビル内に公衆無線LAN機能整備 など</p>	A	A	B	A	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・海外からの観光客誘致に重点を置く施策は、他の地方空港への良いモデルとなる。 ・課題に関する客観的な分析ができており、ターゲットの具体化がなされている。 ・このプロジェクトをきっかけに地元の再評価に利用している。 ・地元が熱心で、実行可能性が高いと考えられる。

地方航空路線活性化プログラムの評価結果について

路線名	提案者 (共同提案者)	提案の概要	委員の評価結果						委員の主なコメント
			委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員⑥	
山形＝小牧	山形空港利用拡大推進協議会 (FDA)	<p>①「西の伊勢参り」(伊勢神宮)と「東の奥参り」(出羽三山)における共通PRの展開 ・実施体制(双方向・連絡会議)の整備、共通PRデザイン制作、アクセスバスの運行(山形空港～出羽三山など直通/周遊)等</p> <p>②「技能五輪2014in愛知」から「技能五輪2016in山形」へ ・「技能五輪in愛知」見学ツアーの造成・支援 ・若手技術者等による中京圏企業への研修や中京圏指導員の山形訪問への運賃助成等</p> <p>③自動車関連産業を中心とした経済交流の拡大 ・企業訪問・展示商談会参加企業に対するフォロー助成 ・山形空港ビジネスラウンジの特典充実、レンタカー助成等のビジネス利便性向上による航空便利用者の発掘等</p>	S	S	S	S	S	A	<p>・山形⇄愛知双方向の利用拡大、観光需要のみならず、ビジネス需要の創出、山形・愛知における実施体制等、他の地域のモデルとなる取り組みである。</p> <p>・取り組むべき戦略が明確であり、他のプロジェクトにないオリジナルの視点から需要開拓に取り組んでいる点が評価される。</p> <p>・地域経済活性化を中京圏と地元を航空路で結ぶことによって、これまでよりも高いレベルで促進しようとしており、その目標を達成するための取組内容が地域資源を活用した具体的なものとなっている。</p>
羽田＝能登	のと里山空港利用促進協議会 (ANA)	<p>①首都圏在住者の利用確保事業 東京の社会人大学講座を活用し、能登地域に関心の高いコミュニティの持続的な受け入れ(新たな航空利用目的の創造)など。</p> <p>②広域的な二次交通充実事業 人口集積地域(金沢市等)も含めた商圏・集客圏域の拡大(定期観光バス活用、レンタカー低廉化実験など)</p> <p>③羽田空港のネットワークを活用した広域集客事業 全国各地から羽田経由能登行き乗り継ぎ旅行商品造成。</p>	S	S	C	A	S	A	<p>・搭乗率保証制度に甘えることなく、さらなる攻めの姿勢で需要開拓を目指して多様な施策を展開している点が評価できる。</p> <p>・定量的分析のもとに達成可能かつ課題解決に妥当な目標が設定され、その取り組み手法は他の地域にも参考となる。</p> <p>・能登の地域資源が訴求力を発揮しやすいターゲットを設定し、そのターゲットを定期的につかまえることができるチャネルが確保されていることは高く評価できる。</p> <p>・二次交通の充実について、地域交通の各モード間を調整し利用者の利便性向上と本事業終了後の自立を目指している点が評価できる。</p>

地方航空路線活性化プログラムの評価結果について

路線名	提案者 (共同提案者)	提案の概要	委員の評価結果						委員の主なコメント
			委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員⑥	
静岡＝鹿児島	富士山静岡空港利用促進協議会 (FDA)	<p>①産業交流による鹿児島発のビジネス需要創出 静岡ビジネスツアーパンフレット作成、路線片道利用者に対する運賃補助、鹿児島空港駐車場補助、静岡空港での法人向けカーシェアリング制度導入</p> <p>②富士山・桜島を中心とした観光交流拡大 訪日外国人向けの運賃割引、鹿児島県と連携した海外旅行代理店へのプロモーション、鹿児島＝福岡間における移動費用補助(新幹線含む)等による周遊型旅行の促進</p> <p>③幅広い年齢層へのPR事業 シルバー団体・スポーツ少年団などを対象にツアー実施、シニア割引・ジュニア割引など多様な運賃割引制度の導入、発着地両県における交流ラジオ番組の放送 等</p>	A	A	A	A	A	A	<p>・旅客数実績が少ないこのような路線に対してこそ、本プログラムによる支援の効果がどの程度あるのか検証する意義が大きい。</p> <p>・発着地双方の支援が厚く、実効性を高めている。特に、鹿児島側の市役所、商工会議所、観光協会との連携が取られている点を評価。</p> <p>・観光とビジネスの双方の需要の取り込み方法に工夫がなされている。</p> <p>・施策の1つ1つが詳細に構成されており、実効性の高さをうかがわせる。</p>
羽田＝南紀白浜	南紀白浜空港利用促進実行委員会 (JAL)	<p>①世界遺産「熊野古道」等の観光資源を活かした取組 ・世界遺産「熊野古道」の保全ウォークやジオパーク、串本沿岸海域(ラムサール条約登録)などを組み込んだ新たな旅行商品造成。 ・白浜イン・アウトや白浜イン・関空アウトなどの新しい旅行形態の提案、誘客・商品造成等に取り組む。 ・羽田空港を活用した路線のプロモーション展開、首都圏発行のフリーペーパーへの掲載など、首都圏での集中的な情報発信により認知度向上。</p> <p>②欧米からの観光客誘致に向けた取組 ミシュランガイドに指定された「熊野」など欧米の外国人の関心が高まっており、羽田の乗り継ぎを活用した誘客を目指し積極的PRを実施(観光交流協定を締結したスペイン等に現地訪問PR、海外からメディア・旅行会社等招聘、個人旅行者向けWEB広告の活用 等)。</p> <p>③二次交通対策の取組 アンケート回答を条件に、観光タクシー・レンタカー利用者向けの助成を実施。</p> <p>④少子高齢化・人口減少に対応した取組 介護帰省利用者への運賃助成のほか、制度周知用の番組制作で介護帰省運賃等の周知を図る。</p>	A	A	B	A	A	A	<p>・狙うべき需要層をこれまでとは大胆に方針展開し、海外旅行者の誘致に取り組む点などが興味深い。</p> <p>・欧米からのインバウンド客誘致は、地元の観光資源との親和性が高く、成果が見込まれる取り組みと思路。熊野の歴史・文化を理解し尊敬の念を持ってくれるファンをつくっていくという方法が馴染む地域である。</p> <p>・課題の整理とそれに取り組む主体が明確に関連づけられており、各行動主体のミッションが見えやすくなっている。</p> <p>・地理的な特性から潜在的な航空需要があり、努力が結実する可能性が高い。</p>
但馬＝伊丹	但馬空港推進協議会 (JAC)	<p>①PR活動・旅行商品造成 ・「アート」を中心とした旅行商品の開発・情報発信 ・機内での地元銘菓配布、機体ラッピング ・JALのHPを活用した訪日・在日外国人向け情報発信</p> <p>②アクセス交通 ・レンタカー割引＋但馬ファンクラブ1週間限定会員</p> <p>③利便性向上 ・伊丹発欠航時のJR駅までの代替乗合タクシー運行 ・夕方便の引き返し欠航時の場合JR豊岡駅まで運行</p>	S	A	A	A	A	A	<p>・代替タクシーの制度などは他地域の良い参考となる。</p> <p>・発着地双方の協力が明確になっている。</p> <p>・課題の整理が明確で客観的なデータに基づいてわかりやすく整理されている。</p> <p>・パフォーマンスアートを魅力的な観光資源にすることに成功すれば、航空路線も活性化すると考えられる。</p>

地方航空路線活性化プログラムの評価結果について

路線名	提案者 (共同提案者)	提案の概要	委員の評価結果						委員の主なコメント
			委員①	委員②	委員③	委員④	委員⑤	委員⑥	
天草＝福岡	天草空港利用促進協議会 (AMX)	<p>①インバウンド対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天草へのメディア個別招聘及び著名人招聘、台湾・韓国をターゲットした海外旅行会社個別招聘事業 ・福岡・関東在住者に対する体験取材ツアー実施によるブログ等の情報配信(体験ツアー×情報発信) ・公認サンタクロースと巡る「聖地・天草」を売りにした旅行商品造成 ・天草島内を回る天草周遊タクシー実証運行 等 ・WEBシステムの多言語化及びWEB予約システム改良 ・空港図書館設置・運営 <p>②アウトバウンド対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サテライトスタジオを空港に設置し地元への情報の発信 ・サポータークラブ会員限定ツアーの実施 	A	A	A	A	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニークな取り組み案が多く独自性が高い。成功すれば地方路線の活性化に大いに参考になる。 ・地域資源を利用し、この地域らしい取り組みとなっている。 ・課題分析は客観的なデータに基づいて着実に行われている。

◎採択されなかった路線に対する主な評価コメント

- ・課題分析が十分ではない、また課題の認識と取組の内容が整合していない。
- ・課題設定まではよいが、その課題を解決するための取組の内容・手法がやや旧来型のものが多く、実効性に疑問が残る。
- ・取組の内容が簡素で、具体性に欠けるため、航空需要が持続的に維持できるかどうか分からない。
- ・期間限定のイベントに依存したような取組が見られ、それらの継続性が心配である。
- ・旅行商品造成について、現在すでに行っている助成のかさ上げを国費で行うという考え方は本プログラムにそぐわない。
- ・需要創造のメインの方策を低価格料金の設定のみに依存している。新しい層に乗ってもらうためには、価格以外の訴求力が備わっていないと持続可能性がない。
- ・発地側(提案の連携先)の協力体制や工程表について具体性に欠ける。